

## きのくにロボットフェスティバル 2009 F A Q

[小学生の部競技詳細\(PDF\)](#)

[中学生の部競技詳細](#)

[\(PDF\)](#)

### 小学生部門

[フィールド編](#)

[ルール編](#)

#### \* フィールド編 (小学生部門)



#### \* ルール編 (小学生部門)



Q : ロボットがボールをひとりじめしてもいいですか？

A : 5つのボールを1度に全部取り込んでも違反にはなりません。ただし、本物のサッカーのようにボールを取り合う競技ですから、相手がボールを取りかえしにアタックしてくることは考えられます。また、相手のゴールに入っははいけない（もし入ってしまったらすぐに出る）というルールがあるので、相手のゴールの中で取り込んだボールをキープし続けることはできません。

ん。

スタート後にロボットが腕を開いて大きくなってもいいで  
Q : すか？

A : 大きくなるのは反則です。ロボットは15×25cmの  
大きさをなければなりません。ただし、足に部品をつ  
けた場合、足が前後に動くことによって部品が少しは  
み出してしまうかもしれませんがそれはOKとしま  
す。また紙などでできたやわらかい部品が移動や対戦  
によってゆれたり、ゆがんではみ出してしまうことが  
あるかもしれませんが、これについても反則にはしま  
せん。

スタートのときに15×25cmの大きさに収まって  
いることと、わざと広がって大きくなるようなしくみ  
はいけないということです。

相手のゴールエリアに入っはいけないとありますが、ゴー  
Q : ルエリアの上空でもいけないのですか？

A : ゴールエリア上空でもルール違反となります。

ロボットの足の白い部分に塗装したり、何かを巻きつけても

Q :

いいですか？

A : 塗装自体はルール違反にはなりません。しかし、ネバ

ネバする塗料やボンドを塗ったり、両面テープを巻き

付けたりするのは、コート面を汚す可能性があるので

認められません。また、紙やすりのようなものを巻き

つけたり、スパイクのようなとがったものを取り付け

るとコートを傷つけるかも知れないので、そのような

改造はしないでください。

Q : ロボットにモーターをもうひとつ取り付けたいのですが？

A : ルールではロボットに部品をとりつけることは自由で

すからモーターをとりつけても反則にはなりません。

ただし次のことに気をつけてください。

- ・ 電池は2本までしか使えませんから、コントローラーに使われている以外の電池を使用することはできません。
- ・ コントローラーやケーブルを改造することはできませんから、電源は最初からロボットについているモーターの所から取ってください。
- ・ その他ルールに書かれていることをよく読み、違反しないように気をつけてください。

## 中学生部門

[フィールド編](#)

[ルール編](#)

### \* フィールド編 (中学生部門)



Q : ペットボトルの固定方法について

A : ペットボトルを固定するセンターの板の固定については、フィールド上に固定するのではなくて、フィールドとフィールドで挟んで固定します。挟む板の厚さは20mmです。よって、フィールド全体の長さが20mm広くなります。

また、ペットボトルを板に固定する方法として、ペットボトルを先に100mmの高さに切り取りコンパネにボンドで固定します。接着剤で直接固定して高さを112mmにします。

写真をご参照ください。 [写真1](#) [写真2](#) [写](#)

[真3](#) [写真4](#) [詳細図面](#)

Q : 使用するペットボトル

A : 使用するペットボトルは、キリン生茶（500ml、

店頭販売用)

自動販売機用とは形状が異なりますので、店頭販売用  
を使用してください。

### \* ルール編 (中学生部門)



Q : 筒にロボットが触れたら反則ですか？

A : 触れても反則にはなりません。ただし、筒はペットボ  
トルでできていますから、強い力を加えて変形させたり破損させないようにしてください。

ペットボトルの筒の口に蓋をして相手に球を入れさせない  
Q : 戦法は可能でしょうか？

A : ペットボトルを覆うこと自体はルール上問題はありま  
せん。ただし以下のことに十分気をつけてください。

- ・ ペットボトルを覆う部分はロボットの一部でなければなりません。完全にロボットから分離した部品はロボットから脱落したものとみなし、競技の邪魔にならないように係員が速やかに取り除きます。したがって覆いとロボットが例えば細い糸でつながっていればOKとします。
- ・ ルールでは「故意に相手のロボットにぶつかってはいけない」とあるが、触れてはいけないわけではないので、相手のロボットがその覆いを取り除くことは可能です。この場合取り除かれた覆いが相手のコートに落ちた

ら、相手コートにロボットの一部分が触れたことになり反則に該当します。

- ・筒の口の部分にきつく栓をはめたり、筒が変形するほど強く挟んだりすることは競技の進行上問題があると思われるので禁止します。

Q：ルールでは相手のロボットにぶつかってはいけないとありますが、少し触れただけでも反則になるのでしょうか？

A：同じ対象に球を入れ合うという競技の性格上ロボットが接触することは避けられません。反則となるのは、相手のロボットの破壊を目的とした攻撃や、相手の行動のじゃまをするような接触（防御を目的とする場合はこのかぎりではない）の場合を指します。とにかくフェアな行動を心がけてください。

モータの数を増やしたいのですが、コントローラにスイッチ  
Q：を追加して取り付けることは許されますか？

A：コントローラの改造はできませんから、スイッチの追加もできません。ただしモータの数には制限はありません。（1つのスイッチで2台以上のモータを同時に制御するようなことは可能です）

Q：スタート直後にロボットが複数に分かれてもいいですか？

A：ロボットは1台でなければなりません。複数であってもロボット同士がひも・コード等で確実に繋がっていれば1台とみなします。ただし、コントローラの改造は認められていないので、1台のコントローラですべてを制御しなければなりません。また、スタート時にはすべてのロボットがまとまった状態で50×50×50cmの枠内に収まっていなければなりません。

Q：「リトライ」について詳しく教えてください。

A：試合中転倒したり、コードが絡まって動けなくなったり、ロボットが不調で本来の動作ができないときには「リトライ」と宣言すれば、ロボットをスタート位置から復帰させることができます。この場合、ロボットを直接手で触っても反則にはなりません。なお、故障等で作業が必要な場合は、コート外の自エリア内で作業してください。

再スタートは、スタート位置から行いますが、ロボ

ットが展開している場合は、スタート時の形状（50cm×50cm×50cm）に戻す必要はありません。ただし、ロボットが複数に分裂しているような場合は、すべてのロボットがスタート位置にあるようにしてください。

リトライ時、ロボットが球を保持している場合は、そのままスタートできます。ただし、復帰作業中にロボットが球を放した(落とした)場合は、以後その球に触れることはできません。落とした場所がコート外なら、外に飛び出した球として扱います。また、復帰作業中に球を手でさわっても反則にはなりませんが、さわった球はすべて無効とし審判が回収します。